

2 過去の災害事例から学ぶ

- ① 午睡中の火災（園内の“時間帯リスク”）
- ② 日和幼稚園（津波・判断の難しさ）
- ③ 閑上保育所（避難判断の重要性）
- ④ 能登半島地震（地域性による危険度の違い）
- ⑤ 島根鳥取での地震（長時間避難の対応リスク）

2 過去の災害事例から学ぶ

① 午睡中の火災（園内の“時間帯リスク”）

＜＜状況＞＞

午睡中という“最も動きにくい時間帯”に隣家で火災発生

＜＜学び＞＞

- ◆ 時間帯によって避難の難易度は変わる
- ◆ 午睡環境の整え方（日常の工夫）が命を守る
- ◆ 地域との連携が命を守るカギとなる

火災は、避難の「スピード」が命に直結する

2 過去の災害事例から学ぶ

ひより

② 日和幼稚園（津波・判断の難しさ）

＜＜状況＞＞

地震後に園バスで海の方面へ。津波と火災により5名の園児が犠牲となる

＜＜学び＞＞

- ◆ ハザードマップなどの地域リスクの把握
- ◆ 想定される災害に対する訓練の実施（津波）

「訓練でしていない行動は、本番（災害時）にはできない」

2 過去の災害事例から学ぶ

ゆりあげ

③ 閑上保育所（避難判断の重要性）

<<状況>>

地震による津波の発生、すぐに子どもたちと高台へ避難

<<学び>>

- ◆ 避難ルート of 事前確認
- ◆ 迷わず動くことの重要性

「奇跡」ではなく、「事前に想定し備えていた」から
守ることができた

2 過去の災害事例から学ぶ

④ 能登半島地震（避難判断の重要性）

＜＜状況＞＞

園児はいなかったが、園庭の地割れや園舎の被害など
想定していなかった被害もあった

＜＜学び＞＞

- ◆ 園庭が必ずしも安全とはいえない
- ◆ 園の再開の判断基準の必要性

災害発生時、保育者自身も『被災者』になることを忘れない

2 過去の災害事例から学ぶ

⑤ 島根・鳥取地震（長時間避難の対応）

<<状況>>

1月6日午前中に震度5強の地震、園庭に避難後に繰り返し鳴る緊急地震速報に子どもも保育者も怯えた

<<学び>>

- ◆ 緊急地震速報時の対応訓練の重要性
- ◆ 園庭避難時に必要な物品の備え

災害時、保育者が子どもたちへ提供するのは「安心感」。

2 過去の災害事例から学ぶ

過去の災害を知る意味

- ◆災害の形はさまざま。事例を知ることによって想定幅が広がる。
- ◆判断の難しさを、実際の場面から学べる。
- ◆訓練の必要性和、準備不足のリスクに気づける。
- ◆日常の工夫や環境が、災害時にどう影響するかがわかる。
- ◆自園に置き換えて考えるきっかけになる。